

病害虫発生予察指導情報

(ナシ・シンクイムシ類 No.1)

平成23年8月16日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

性フェロモントラップの誘殺数が、例年と比較して多い地点が散見される。今後、シンクイムシ類の発生が増加する時期を迎えるため、防除の徹底が必要である。

2. 情報の根拠

- (1) 8月上旬現在、シンクイムシ類の誘殺数が多い地点が散見される。
- (2) 向こう1か月の気象予報は、本種の発生にやや好適である。今後、シンクイムシ類の発生数が増加する時期を迎えるため、防除の徹底が必要である。

3. 防除上注意すべき事項

- (1) 無袋果実や落下果実(有袋)にシンクイムシ類の被害が発生していないか確認する。
- (2) 二十世紀、豊水ではアグロスリン水和剤2,000倍液などを使用し、収穫前の防除を徹底する。
- (3) 晩生品種(新高、新興、王秋他)は、8月中下旬~9月中旬頃が重要な防除時期となるため、アグロスリン水和剤2,000倍液、サムコルフロアブル10の5,000倍液、フェニックス顆粒水和剤4,000倍液などを使用し、防除を徹底する。
- (4) 園内のクリーン作業を徹底する。授粉樹の摘果、裸梨、被害果の徹底処分など、シンクイムシ類の発生源は早急に除去する。